

西日本地区会開催



平成31年2月1日、ANAクラウンプラザホテル広島において、JISA西日本地区会(代表幹事：亀山 創／(株)サンネット 取締役会長)が開催され、39名が参加した。

亀山代表幹事の「IoT というフォローの風が吹く一方、東京一極集中のジレンマもあるので、克服していきたい。」という開会挨拶に続き、JISA 浜野一典副会長から「改元、消費税改正と忙しい年となりそうだが、地域との連携を大切にして前に進めていきたい。」と挨拶があった。

来賓の紹介の後議事に入り、まず経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 ソフトウェア産業戦略企画官 和泉憲明氏から、デジタルトランスフォーメーションの実現に向けて、情報サービス産業が置かれている現状、課題とその対応策などの説明があった。

次にJISA小脇一朗副会長・専務理事から、JISA事業の重点や情報サービス業の最近の業況などの説明、生産性・収益力向上委員会がまとめた「収益改革10箇条」の紹介があった。

休憩を挟んで、お好み焼きアカデミー理事でオタフクソース(株) 取締役 松本重訓氏による講演「お好み焼き文化を広島から世界へ」が行われた。

松本氏は、「“モノを売る”のではなく、“コトを広める”」という方針の元、広島の復興と平和の象徴であるお好み焼きを普及させる活動によって、日本全国はもとより海外にも市場を創造してきたことについて語った。

また、講演後にはお好み焼きの実演があり、参加者はできたてのお好み焼きを味わいながら、おいしい焼き方のコツなどを熱心に聞いた。



(赤尾)